

## パッケージ8:地方道路交付金事業事後評価

**対象事業:震災時における避難経路・緊急輸送経路を  
確保する橋梁の耐震補強**

### 対象事業の目的

震災時に落橋の恐れがある橋梁の耐震補強を実施し、被災時の避難経路、迅速な救援活動のための緊急輸送経路の確保を図る。

・対象地域(三重県)  
四日市市、亀山市、松阪市、大紀町、南伊勢町  
伊賀市、紀宝町、大台町、度会町

### 事業の効果

橋梁の耐震補強により、被災時の避難経路や緊急輸送経路が確保され、人命の安全確保や円滑な救援活動・救援物資の輸送が行える。

対象事業の成果目標  
(アウトカム指標)

..... 市町の橋梁耐震補強整備率の向上

## 当初現況値 (H17当初)

耐震補強整備率 = H16まで耐震補強完了橋梁数 ÷ 耐震補強整備対象橋梁数 × 100 (%)

$$57 \div 195 \times 100 = 29\%$$

### ・H16まで耐震補強完了橋梁数とは・・・

当該パッケージを構成する市町における、平成16年度までに橋梁の耐震補強を完了した橋梁数。(57橋)

### ・耐震補強整備対象橋梁数とは・・・

当該パッケージを構成する市町における、平成16年度までに橋梁の耐震補強を完了した橋梁数と、平成17年度以降に耐震補強整備の対象となる橋梁数の総和。(195橋)

耐震補強整備対象橋梁数		
	H16まで耐震補強完了橋梁数	H17以降耐震補強整備対象橋梁数
195	57	138

## 長期目標値 (H19末)

耐震補強整備率 = (H16まで耐震補強完了橋梁数 + H17～19耐震補強整備目標橋梁数) ÷  
耐震補強整備対象橋梁数 × 100 (%)

$$(57 + 49) \div 195 \times 100 = 54\%$$

### ・H17～H19耐震補強整備目標橋梁数とは・・・

当該パッケージを構成する市町における、平成17年度から平成19年度末までに、橋梁の耐震補強を完了とする目標橋梁数。(49橋)

耐震補強整備対象橋梁数			
	H16まで耐震補強完了橋梁数	H17～19耐震補強整備目標橋梁数	H20以降耐震補強整備対象橋梁数
195	57	49	89

◆当該パッケージを構成する4市5町において、3カ年で49橋の耐震対策を完了する目標を設定しました。

平成19年度末実績値 (H20. 3. 31現在)

$$\text{耐震補強整備率} = (\text{H16まで耐震補強完了橋梁数} + \text{H17~19耐震補強整備完了橋梁数}) \div \text{耐震補強整備対象橋梁数} \times 100(\%)$$

$$(57 + 38) \div 195 \times 100 = \mathbf{49\%}$$

耐震補強整備対象橋梁数			
	H16まで耐震補強完了橋梁数	H17~19耐震補強整備完了橋梁数	H20以降耐震補強整備完了橋梁数
195	57	<b>38</b>	100

※H17~H19耐震補強整備完了橋梁数には、市町の単独事業で行った橋梁数も含まれます。

◆当該パッケージを構成する4市5町において、3カ年で38橋の耐震対策が完了しました。

当初現況値29%(H17当初)

20%の耐震補強整備率の  
向上が図れました。

長期目標値54%(H19末)  
実績値49%(H19末)

## 各市町の耐震対策状況

市町名	【平成17年度～19年度末までに耐震補強する橋梁数】	
	目標	実績
四日市市	6 橋	3 橋
亀山市	7 橋	4 橋
松阪市	9 橋	6 橋
大紀町	3 橋	3 橋
南伊勢町	5 橋	5 橋
伊賀市	3 橋	2 橋
紀宝町	4 橋	3 橋
大台町	2 橋	1 橋
度会町	11 橋	11 橋
合計	50 橋	38 橋

## 耐震対策（アウトカム指標）の達成状況

**目標達成率90%**

- ・対象事業（パッケージ）の要素事業は、全50橋（H20.3.31末時点）あり単独事業も含め、3カ年で38橋の耐震対策完了を行うことが出来ました。
- ・うち、度会町においては、11橋の要素事業があり、計画どおり事業完了しました。

## 事後評価（達成度の報告）

- ・対象事業は、平成17年度～平成19年度までの3カ年で実施しました。
- ・計画どおりに耐震補強工事が実施されました。
- ・今後も、耐震補強未実施箇所の早期事業着手に取組み、耐震補強を実施していきます。

## 対象事業の整備事例

### 落橋防止工事 (久具都比売橋: 度会)



全景

#### 【効果】

橋梁の耐震補強により、地震等の被災時には落橋や段差等による交通障害の発生を抑制することができることから、各集落が孤立してしまうことを防ぎ、避難経路や緊急輸送路が確保され、人命の安全確保や救援物資の輸送などの救助活動を円滑に行うことができます。

『落橋防止装置設置』  
PCケーブルにより橋桁と橋台  
や橋脚を連結させ落橋を防止しま



工事着工前



工事完了後



工事着工前



工事完了後

『段差防止装置』  
支承が破損した場合段  
差の発生を防止しま

『変位制御装置』  
橋桁の移動を制限し  
落橋を防止します。